

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-85777

⑤ Int. Cl.⁴F 16 K 31/68
F 01 P 7/16

識別記号

庁内整理番号

7181-3H
A-7515-3G

④ 公開 昭和62年(1987)6月1日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 感温弁

⑰ 実 願 昭60-175227

⑱ 出 願 昭60(1985)11月14日

⑲ 考 案 者 稲 垣 政 夫 豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

⑳ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社 豊田市トヨタ町1番地

㉑ 代 理 人 弁理士 明石 昌毅

㉒ 実用新案登録請求の範囲

互いに対向して配設された第一の入口ポート及び第二の入口ポートと、前記第一の入口ポートと前記第二の入口ポートとの間の一侧部に設けられた出口ポートと、前記第一の入口ポートと前記第二の入口ポートと前記出口ポートとを互いに連通接続する弁室を郭定する弁ハウジングと、前記第一の入口ポートを開閉する第一の弁要素と、前記第二の入口ポートを開閉する第二の弁要素と、前記弁室内にて前記第一の入口ポートと前記第二の入口ポートとの間に延在して感温要素を内蔵し該感温要素の温度上昇により前記第一の弁要素を開弁方向へ駆動し且前記第二の弁要素を開弁方向へ駆動する感温型アクチュエータとを有する感温弁に於て、前記第一入口ポートと前記感温型アクチュエータとの間に前記第一の入口ポートより前記弁室内に流入する流体を前記感温アクチュエータ

へ向かわせしめる整流通路を有している感温弁。

図面の簡単な説明

添付の図は本考案による感温弁を内燃機関のボトムバイパス方式の冷却装置に組込んだ一つの実施例を示す縦断面図である。

1…弁ハウジング、2…バイパス通路部材、3…導管、4…弁室、5…第一の入口ポート、6…第二の入口ポート、7…出口ポート、8…弁室、9…冷却水バイパス通路、10…冷却水通路、11…整流通路、12…弁フレーム、13…円環状フランジ部、14…弁座部、15…感温型アクチュエータ、16…熱膨張性物質、17…ケース、18…ゴム状弾性部材、19…ステイロッド、20…弁軸、21、22…スナツプリング、23…ばね、24…第一の弁要素、25…弁座部、26…第二の弁要素、27…圧縮コイルばね、28…リング部材、29…貫通孔、30…堰状突起。

